

山形県広報誌県民のあゆみ令和6年3月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和6年3月号 第638号

県民のあゆみ3月号

特集 山形新幹線米沢トンネル（仮称）の早期実現に向けて（2ページ）

奏であう人 キラリと光る事業承継の形（8ページ）

潜入レポート！ 箕輪鮭漁業生産組合ふ化場（16ページ）

今月の表紙

若者の視点から公共交通の利用促進に向けたアイデアを話し合っている東北芸術工科大学の学生の皆さん。見る人が公共交通に魅力を感じ、利用したくなるようなロゴマークやポスターデザインの制作に、学科の枠を越えて取り組んでいます。（撮影協力：JR東日本）

<2から3ページ>

タイトル

特集

山形新幹線米沢トンネル（仮称）の早期実現に向けて

写真キャプション 降雪地を走行する山形新幹線

整備計画の概要

●より安全に！山形新幹線最大の難所の克服

大雪などによる運行への影響を減らし、福島から米沢間の安全性・安定性が格段に向上します。

●より早く！10分強のスピードアップ

走行距離が短くなり、運行速度も上がるため、所要時間が短縮されます。

工期：着工から約15年／総事業費：約1,500億円〈計画当初の想定〉

山形新幹線の現状と課題

山形新幹線は、平成4年に東京から山形間で開業し、平成11年の新庄延伸を経て、令和4年7月に開業30周年を迎えました。この間、県民生活やビジネス、観光などに欠かすことができない本県と首都圏を結ぶ重要な公共交通機関として、本県の発展に大きく貢献してきました。

一方、運行の安定性の確保は大きな課題です。山形新幹線は、東京から福島までの区間は東北新幹線と連結して新幹線専用の線路を走行しますが、福島から新庄までの区間は在来線に乗り入れて走行します。そのため、雨、雪などの自然条件や動物との衝突などによる運休や遅延が多く発生しており、輸送障害の件数は東北新幹線などのフル規格新幹線と比べ、約35倍です。1年間で

は平均 170 本以上の運休・遅延が発生しており、このうち山岳区間を走る福島から米沢間に起因するものが約 4 割を占めることから、山岳区間が最大の難所といえます。

山形新幹線の運休・遅延は、東北新幹線のダイヤの乱れにもつながるため、この区間の安定性の確保は、山形新幹線だけではなく、新幹線ネットワーク全体の安定性を確保する上でも重要です。

写真キャプション 開業 30 周年を祝うセレモニー

フル規格新幹線と山形新幹線の走行 100 万キロあたり輸送障害件数

(平成 26 年から令和 4 年度：JR 東日本管内)

山形新幹線はフル規格新幹線（東北・上越・北陸）の約 35 倍多い状況

出典：JR 東日本公表情報、鉄軌道輸送の安全に関わる情報（国土交通省）より県作成

山形新幹線の運休・遅延本数の推移（自然条件などを原因とするもの）

<平成 26 年>	運休 134 本	遅延 45 本
<平成 27 年>	運休 81 本	遅延 35 本
<平成 28 年>	運休 102 本	遅延 50 本
<平成 29 年>	運休 100 本	遅延 161 本
<平成 30 年>	運休 101 本	遅延 27 本
<令和元年>	運休 95 本	遅延 60 本
<令和 2 年>	運休 182 本	遅延 53 本
<令和 3 年>	運休 70 本	遅延 56 本
<令和 4 年>	運休 169 本	遅延 38 本

出典：JR 東日本公表情報より県作成

(注釈) 輸送障害：列車の運転休止や一定時間以上の遅延などのトラブルのうち、鉄道運転事故以外のもの

米沢トンネル（仮称）の整備計画

1 整備計画の概要

こうした課題を大きく改善するため、JR 東日本では、「山形新幹線米沢トンネル（仮称）」の整備を計画しており、県も協力して推進しています。この計画は、福島から米沢間に約 23 キロメートルのトンネルを整備するというもので、実現すれば、この区間の自然条件などの影響が大幅に軽減され、運休・遅延の少ない安定的な運行が可能になるとともに、10 分強の時間短縮効果も見込まれています。

計画当初の想定では、工期は着工から完成まで約 15 年を要し、総事業費は約 1,500 億円を見込んでいます。

2 県の取組み

米沢トンネル（仮称）の整備を早期に実現するため、令和 4 年度に県と JR 東日本との間で「山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備計画の推進に関する覚書」を締結しました。この覚書では、計画の具体化に必要な共同調査の実施や、事業化に向けたさまざまな検討、財政支援などの政府への働きかけなどを県と JR 東日本が協力して行うこととしています。

現在は、具体的なルートを検討するための共同調査を行っています。令和3年度から地権者調査や地表の現地調査を行うとともに、令和4年度から、想定ルートを設定するために、ボーリング調査などを実施しています。

写真キャプション1 覚書・包括連携協定の締結式

写真キャプション2 JR 東日本提供ボーリング調査の様子

公共交通活性化の取組み

県では、開通後を見据えて、鉄道などの公共交通の利用を増やす取組みや、駅を中心としたまちづくりなども併せて進めています。

鉄道やバスの乗車券、電子マネーとしてスイカ機能を利用できる地域連携 IC カード「cherica（チェリカ）」は、令和4年度のサービス開始以降約5万枚発行され、県内での普及が進んでいます。今年3月16日からは、新たに県内のJRの21駅でスイカを利用できるようになり、公共交通の利便性がさらに高まります。

また、山形駅や米沢駅など、県内の新幹線駅周辺にコワーキングスペースの整備が進み、出張やテレワークなどビジネス利用での駅や鉄道の利便性の向上につながっています。

利便性の向上が鉄道の利用増につながり、トンネル整備の機運を一層高めていけるよう、取組みを進めていきます。

写真キャプション スタートアップステーション・ジョージ山形

3月16日から新たに21駅でスイカが利用可能に！

チェリカもますます便利に！

山形新幹線の新型車両 E8 系が3月16日にデビュー！！

写真キャプション1 E8系車両の外観

写真キャプション2 普通車の内装

新型車両は、最高速度が時速300キロメートルに向上し、東京から山形・新庄間が最大4分短縮になります。普通車の内装は山形の「県の花」である紅花をイメージしたデザイン！！また、全席にコンセントも設置されます。

今後の県の取組み

山形新幹線の安定性の向上につながる米沢トンネル（仮称）の整備は、デジタル田園都市国家構想の実現や国土全体の強靱化に資するため、県では政府やJR東日本と連携し、事業化に向けて取り組んでいきます。

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組

いき☆いきやまがた 放送のご案内

「山形新幹線米沢トンネル（仮称）の早期実現に向けて」と題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

山形放送（YBC）3月2日（土曜日）午後4時25分から

山形テレビ（YTS）3月9日（土曜日）午後3時55分から
さくらんぼテレビ（SAY）3月17日（日曜日）午後4時から
テレビユー山形（TUY）3月24日（日曜日）午後4時から
放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ 総合交通政策課 電話番号 023-630-3017

<4 から 5 ページ>

タイトル

ご存知ですか？ J-クレジット

山形県 J-クレジットの取組みについて

県では、国の J-クレジット制度を活用し、県内の家庭の温室効果ガス排出削減量などをクレジットとして企業に販売し、収益を環境保全事業に活用しています。

山形県 J-クレジット制度とは

J-クレジット制度とは、再生可能エネルギーの利用によるシーオーツの排出削減量や適切な森林管理によるシーオーツの吸収量などをクレジットとして国が認証し、取引できるようにする制度です。

「山形県 J-クレジット制度」は、家庭や事業所が導入した再生可能エネルギー等設備のシーオーツ削減量をクレジットとして都市圏の企業などに販売し、収益を環境保全事業に活用することで、広く県民に還元する取組みです。

県の J-クレジットの売却実績

<令和2年度>

売却量 2,458 トン-CO2 売却額（税込） 6,170,351 円

<令和3年度>

売却量 2,310 トン-CO2 売却額（税込） 6,911,080 円

<令和4年度>

売却量 2,040 トン-CO2 売却額（税込） 6,407,170 円

CO2 削減量 1 トンあたり約 3,000 円で売却！

山形県 J-クレジット制度に参加するには

「やまがた未来（みら）くるエネルギー補助金」を活用して、家庭や事業所に再生可能エネルギー等設備を導入することで、「やまがた太陽と森林（もり）の会」に参加し、山形県 J-クレジット制度に参加できます。

写真キャプション1 ペレットストーブ

写真キャプション2 蓄電池設備

やまがた未来（みら）くるエネルギー補助金

家庭・事業所で再生可能エネルギー等設備を導入する場合、その経費の一部を補助します。

●対象設備：蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器（ペレット・薪ストーブ）、地中熱利用装置（空調・融雪）

入会

やまがた太陽と森林（もり）の会

参加者が導入した設備によるシーオーツー削減量をとりまとめ、クレジットとして国の認証を受け、企業に販売します。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/kurashi/kankyo/ondanka/taiyotomorinokai/index.html>

J-クレジット販売収益を活用した事業

<学生環境ボランティア やまカボ・サポーター>

県内の大学生などによる環境講座やワークショップなど、県民の環境意識の醸成を図るための普及啓発活動を支援しています。

◆リサイクル工作ワークショップ

写真キャプション1 もがみエコフェスタ 2023

写真キャプション2 やまがた環境展 2023

<カーボンニュートラルチャレンジ応援補助金>

県内の高校生以上により構成される団体が実施する、カーボンニュートラルにつながる活動に対して支援しています。

◆太陽光パネルの製作

写真キャプション 県立村山産業高等学校

◆超小型風車ブレードの研究

写真キャプション 県立山形工業高等学校

問い合わせ 環境企画課 電話番号 023-630-2335

タイトル

真の豊かさと幸せを実感できる山形へ

県では、県民の皆さんが幸せを実感できる山形を目指し、本県ならではの地域資源、暮らし方の価値などを見つめ直すきっかけづくりや機運の醸成に取り組んでいます。

やまがた幸せサミット

令和5年12月に、山形の未来をより良いものにするためのアイデアを発表する「山形の未来創造高校生アイデアコンテスト」や、本県ゆかりの著名人らによるトークセッションを開催し、山形の良さや誇り、山形の暮らしの中にある「幸せ」などについて考えました。

ワタシだけが気づいた！？知られざる山形の幸せ

【トークセッションから】

- 私は山形の滝が大好き。都会ではテーマパークなどの人工的に作られたもので幸せを感じるかもしれないが、山形では自然の豊かさで幸せを感じられるのはすごい。
- 山形県は食料自給率が高く、食に対する安心感がある。

山形の未来創造高校生アイデアコンテスト最優秀賞

おせっかいなお花屋さんプロジェクト

県立置賜農業高等学校2年

橋本 綾寧さん 佐藤 妃那さん 前柳 あいかさん

普段学習している園芸や福祉を地域の課題解決に生かせないかと思い、自分たちが育てた花を高齢者に届けたり、手入れのために訪問したりしながら高齢者を見守るアイデアを考えました。発表までの準備期間でアイデアを深めたり、大学生と意見交換したり、さまざまな経験ができました。応援してくれたクラスメート、熱心にサポートしてくださった東北芸術工科大学の学生の皆さん、多くの人に感謝したいです。私たちのプロジェクトが山形県や置賜地域をより良くしていけるよう、実現に向け頑張っていきます。

やまがた幸せエピソードコンテスト

生活の中で感じた「山形だからこその幸せ」をテーマに、エピソードと写真を募集し、コンテストを開催しました。審査の結果、最優秀賞を受賞した作品を紹介します。

エピソード部門最優秀賞

お客様はラーメン 荒木絵里子さん（寒河江市）

私が子供の頃、午前中のお客様が昼近くまでいらっしゃると、必ず出前でラーメンを取ってご馳走したものです。「もうこんな時間だ！お昼だから、帰るよ。」と、お客様が帰ろうとすると母は「あら！今、ラーメン注文したから、食べてってけろ！」と言って引き止めたものでした。母は、私の分もラーメンを注文してくれるので、子供の頃の私は、午前中の来客があると「やったあ！ラーメンだあ！」と嬉しくて、お客様の顔がラーメンに見えるようでした。

お客様も、お寿司なら恐縮して遠慮してしまうかもしれませんが、ラーメンなら断れない。スグ食べないと伸びてしまうので、注文されたら、遠慮せずご馳走になれるラーメン！

山形県民のさり気ない気配りと、おもてなしの気持ち。ご馳走と言っても、飾り気のないシンプルな醤油ラーメン。山形市のラーメン支出額が1位、2位なのも、そのDNAからくるものなのかもしれません。出前のラーメンは、山形のやさしさが詰まったご馳走です。

写真部門最優秀賞

やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト

山口 俊一さん（山形市）

写真キャプション 山形の「山」の魅力は世界一！

皆さんの暮らしの中には、どんな「幸せ」があるでしょうか。おいしいものを食べたとき、家族や友人と過ごす何気ないひととき、ふと感じる季節や景色の移ろい。豊かな自然と食に恵まれ、

伝統や文化の息づく山形。

皆さんの暮らしの中にある「幸せ」、あらためて見つめ直してみませんか。

県ホームページでは、県民幸福度アンケートの調査結果や県の取組みを紹介しています。

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/020060/shiawase_yamagata.html

問い合わせ 企画調整課 電話番号 023-630-2896

<6 から 7 ページ>

タイトル **県政トピックス** こんなことがありました

1) 日本、そして世界を舞台に輝く中野拓夢選手

山形県スポーツ栄光賞授与式（令和6年1月4日、山形市）

天童市出身でプロ野球阪神タイガースの中野拓夢選手に、山形県スポーツ栄光賞をお贈りしました。中野選手は、2023 ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）に日本代表として出場し、日本の優勝に貢献するとともに、阪神タイガースの38年ぶりの日本一に貢献しました。「これからもっとプロ野球の世界で活躍し、山形の皆さんに明るいニュースを届けることができるように頑張っていきます。」と中野選手。今後、さらなるご活躍を期待しています！

2) 多様性が尊重される社会を目指して

山形県パートナーシップ宣誓制度申込み開始（令和6年1月4日）

県では、パートナーシップ関係にあることを宣誓した双方または一方が性的マイノリティであるカップルに、宣誓を証明する受領証を交付します。受領証を提示することにより、県、市町村および民間事業者の提供するサービスの一部において、法律婚のカップルと同等の関係としてサービスを受けることができるようになります。全ての県民が、性別に関わりなく個人として尊重され、個性や能力を十分に発揮できるよう、制度へのご理解とご協力をお願いします。

3) 3月11日は「県民防災デー（防災点検の日）」

「県民防災デー（防災点検の日）」の制定（令和6年1月31日）

本県の防災対策において大きな教訓となった東日本大震災が発生した3月11日を「県民防災デー（防災点検の日）」に決めました。地震や津波、豪雨などによる災害はいつ・どこで起きても不思議ではありません。災害による被害を最小限にとどめるためにも、この機会に、県民一人ひとりが防災について考えるとともに、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」の仕組みを確認し、ご自身や家族、地域、企業・団体それぞれが、災害に備えましょう。

タイトル

令和5年度12月補正予算（442億6,000万円）の概要

政府の補正予算に対応し、物価高対策や、防災・減災、国土強靱化に向けた取組みの充実を図る

とともに、農作物の気象災害など喫緊の課題等に対応するため、12月補正予算を編成しました。その代表的な取組みをご紹介します。

1. 物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援

(1) 生活者への支援

一般家庭等のLPガス料金の負担を軽減する取組みへの支援

市町村が取り組む地域経済活性化に資するプレミアム商品券等発行事業への支援

(2) 事業者への支援

物流事業者、荷主企業が行う物流の効率化に資する機器・システム導入等への支援

医療機関、社会福祉施設の物価高騰への支援

中小企業・小規模事業者等のデジタル化等を推進するための中小企業パワーアップ補助金を令和6年度当初予算から前倒して実施

畜産農家の飼料価格高騰への支援

施設園芸農業者、漁業者、施設栽培を行うきのこ生産者の燃油価格高騰への支援

2. 防災・減災、国土強靱化の推進等

橋りょう等の長寿命化対策や道路改良

最上川の緊急治水対策プロジェクト等に基づく河川整備

土砂災害防止のための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備

生産効率を高めるための農地の区画整理・用排水施設の整備

3. 農作物の気象災害への対応

米の品質を向上させる色彩選別機導入への支援

高温耐性に優れる「雪若丸」の作付け拡大に向けた種子の緊急増産への支援

水稻における高温耐性品種の開発・導入推進

知事コラム

ようこそ春の山形へ

波乱の年明けとなりました。元日に大地震が能登半島を襲い、甚大な被害が発生しました。

改めて、お亡くなりになられた方やご遺族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。県としましては、一日も早い復旧・復興を願い、物的支援や職員派遣を行っていきます。県民の皆さまにも、義援金などの支援にご協力をいただき感謝を申し上げます。

長く厳しい冬にも、必ず暖かな光が降り注ぐ春がやってきます。4月から6月まで、JR東日本と連携し、「山形県春の観光キャンペーン」を展開します。「心ほどけるやまがた」をキャッチコピーに、地域の人が守り育ててきた美食・美酒、温泉、自然、歴史・文化、祭り、田舎暮らしなど、本県ならではの魅力ある本物を素材に、全市町村や民間事業者、そして県民の皆さまと一体となった、心ほどけるおもてなしで本県への誘客に取り組んでいきます。

旅の醍醐味の一つは人との出会いです。心からのおもてなしで、全国から本県にお越しになられるお客さまが幸せを感じ、お迎えした県民の皆さまも幸せを感じられる、そんな幸せの循環が生まれる春の観光キャンペーンとなることを願っています。

<8 から 9 ページ>

タイトル **奏であう人** ポリリューム 74

撮影場所 株式会社ジェス山形（山形市）

キーワード **キラリと光る事業承継の形**

運動靴と運動着の卸売を行う事業を継ぎ、「足育」をはじめた佐藤千香さんと、家業である眼鏡店を継ぎ、新たに「スポーツ用サングラス」の事業を展開した那須丈雄さんに事業承継への思いをお聞きしました。

佐藤 千香（さとう ちか）さん（山形市）

1966 年生まれ。山辺町出身、山形市在住。幼稚園から高校の運動靴と運動着の卸売を行う「株式会社ジェス山形」でパートタイム勤務をしていたときに、同社の会長から打診を受け、事業を承継。県内で唯一「日本教育シューズ協議会（JES）」のシューズを取り扱うとともに、子どもの足の健全な発達をサポートする「足育」の普及にも努めている。

写真キャプション 足の形や大きさは十人十色。足の幅や長さを正確に測り、それにあった靴を履くことで、外反母趾など足のトラブルを防ぎ、運動能力も向上するという。JES のシューズは、足幅が狭めから広めまで 3 種類あり、フィットするシューズを選べるのが特徴だそう。

那須 丈雄（なす たけお）さん（長井市）

1977 年生まれ。長井市出身、同市在住。中学生の頃から、商いや家業の眼鏡店「金栄堂」を継ぐことに興味を持つ。都内の高級眼鏡店での勤務を経て、2001 年に U ターン。スポーツ用サングラス事業を新たに立ち上げた後、3 代目として事業を承継。個人や競技に合わせて調整したスポーツ用サングラスは、プロスポーツ選手やトップアスリートにも愛用されている。

写真キャプション スポーツをはじめとしたアクティブなシーンでの装着を想定したスポーツ用サングラス。軽くしなやかで、色付きや度付きに対応し、個性に溢れたデザインで注目を集めている。3,000 人を超える被験者データに基づき、大手企業とともに装着時の色の違和感を抑えたオリジナルレンズも開発した。

一時の憂いは変革の種になる

パートタイム勤務から一転、事業を承継した佐藤さん。運動靴と運動着の卸売を行いながら、学校や家庭での「足育」の普及に取り組んでいます。

「当時パートの私が事業承継の打診を受けたときは悩みました。経営の経験もなく、少子化により業界は縮小傾向です。しかし、足に合わない靴を履くことで、外反母趾などの足のトラブルをかかえる子どもが多いことを知り、事業を継いで、足元から健康を考える『足育』を広めたいと思いま

した」。

佐藤さんは、学校や家庭に足の健康を守る正しい靴の履き方や足のサイズの測り方などを紹介しています。

「子どもに合った靴を選ぶ大切さを知ってもらうことで、足幅を選べる当社商品の販売にもつながると考えたのです」。

一方、中学生の頃から家業の眼鏡店を継ぐことに興味を持っていた那須さん。都内の眼鏡店に勤務後、地元に戻ってきた那須さんは、大きな憂いに直面したそうです。

「街を歩く人影は少なく、事業を継いでも、本当にやっていけるのかと躊躇しました」。

このままでは事業が縮小していくと悩む中、那須さんは、サッカーに打ち込んだ経験からスポーツに特化したサングラスにたどり着きます。

「海外のあるサッカー選手が、緑内障のためにサングラスを掛けてプレーをしていました。当時の日本のスポーツ界ではサングラスはご法度でしたが、海外では当たり前なものでした。それだけに、日本での伸びしろは十分にあると考えたのです」。

当初はスポーツ用サングラスへの反発もありましたが、地道な営業により、テニスや自転車競技などで活躍するアスリートに商品を使ってもらい、商品の調整を重ねることで、利用者の信頼を得て、徐々に売り上げが増えていったそうです。

承継することで見えてくる新事業への可能性

那須さんは、山形で事業を承継することへの思いを話します。

「地域のおかげで、代々商売ができ、そして今の自分があります。これからも地域に必要とされる商売を行い、次代につないでいくことが、自分の役割だと思います」。

佐藤さんがうなずいて話します。

「事業を承継することは、先代が築いた事業やお客さまとの信頼関係などの土台を引き継ぐ安心感もあります。一方で、同じことを続けるだけでは業績は維持できず、下降してしまいます。那須さんが、先代の土台を大切にしつつスポーツ分野に挑戦したように、時代にあった自分なりの新しいチャレンジをすることが大切だと思います」。

佐藤さんの言葉に、那須さんが応えます。

「佐藤さんが取り組む『足育』は、普段見落としがちな視点であり、大きな可能性があると思います。商いの環境は時代で大きく変わるわけですから、お互いに新しいことに挑戦していきたいですね」。

承継から始まる新事業は、山形の未来を明るく照らしてくれそうです。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 101 号

県会議の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

12 月定例会の概要

令和 5 年 12 月定例会は、12 月 4 日から 21 日までの 18 日間の会期で開催されました。

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を盛り込んだ政府の補正予算に速やかに対応するため、総額 442 億 6,000 万円の令和 5 年度一般会計補正予算をはじめ、追加提案を含め、知事提出の 44 議案、委員会提出の 1 議案を可決・同意しました。また、請願 3 件を採択、意見書 1 件を可決しました。

今定例会では、庄内ー羽田便の 5 便化実現や、多様性を認め合う社会の実現など幅広い分野で活発な質疑が行われました。

写真キャプション 閉会にあたりあいさつする森田議長

12 月定例会で採択した請願

- ・スポーツ活動に励む児童・生徒へのマウスガード推進について
- ・生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書の提出について
- ・旅館・ホテルにおける人手不足解消への支援について

12 月定例会で可決した意見書

- ・生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書

12 月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから

録画中継

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

会議録検索システム（注釈 12 月定例会分は 3 月以降に掲載予定）

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

広報誌「県議会やまがた」（公民館等で閲覧可）

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/outline/assemblypublic/kengikaiyamagata.html>

代表質問（12 月 7 日）

自由民主党 梶原 宗明 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆庄内ー羽田便の 5 便化実現 など

県政クラブ 今野 美奈子 議員 鶴岡市選挙区

◆多様性を認め合う社会の実現 など

一般質問（12 月 8 日）

自由民主党 高橋 弓嗣 議員 東根市選挙区

◆果樹農家への支援 など

県政クラブ 橋本 彩子 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆ローカル線の沿線活性化・利用拡大 など

自由民主党 遠藤 寛明 議員 上山市選挙区

◆本県初となる日本スポーツマスターズの誘致 など

予算特別委員会（12月12・13・14日）

自由民主党 伊藤 香織 議員 山形市選挙区

◆山形県体育館、武道館の整備推進 など

県政クラブ 阿部 ひとみ 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆洋上風力発電で生まれた電力の地産地消の推進 など

自由民主党 石塚 慶 議員 鶴岡市選挙区

◆県民に愛される海の活用 など

自由民主党 五十嵐 智洋 議員 長井市・西置賜郡選挙区

◆開業医の医業承継 など

日本共産党山形県議団 石川 渉 議員 山形市選挙区

◆パートナーシップ制度 など

自由民主党 柴田正人 議員 南陽市選挙区

◆入浴着着用への理解促進 など

県政クラブ 木村忠三 議員 米沢市選挙区

◆山形新幹線米沢トンネル（仮称）の整備 など

自由民主党 船山現人 議員 東置賜郡選挙区

◆置賜農業高校における魅力的な教育施設・設備の整備 など

議会用語

意見書

公益に関することについて、国会や国などの関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のこと。

請願を採択した場合は、その請願の趣旨に沿って議会の意思をまとめて提出します。

定数等検討委員会を設置

次期山形県議会議員選挙に向けた議員の総定数、選挙区、選挙区別定数などの調査検討を行うため、委員9人で構成する山形県議会定数等検討委員会を12月15日に設置しました。

委員長には田澤伸一議員、副委員長には石黒党議員が選出されました。

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

1月16日、身近な県議会を目指して、大原学園山形校の学生と県議会議員との意見交換会を開催しました。人口減少・若者の県外流出、政治のデジタル化、交通・観光政策をテーマに、現状と取り組みについて意見交換を行ったほか、政治参加の重要性についても話し合われました。

北海道・東北六県議会議員研究交流大会

1月29日、仙台市で開催された交流大会では、東北大学の青木孝文理事・副学長による基調講演「活力ある地域づくりに向けたデジタルトランスフォーメーションの挑戦」を聴講した後、「観光振興施策」、「人口減少対策」、「農林水産業の振興」の3つの分科会に分かれて、各道県が活発な意見交換を行いました。

写真キャプション1 青木孝文氏

写真キャプション2 分科会の様子

県議会ギャラリーで「やまがたのくだもの絵画コンクール」入賞作品を展示

県議会ギャラリーでは、12月定例会の期間中、知的障がいやその他の障がいがある県内の子どもを対象に開催した「ラッピングバスのデザインになる！やまがたのくだもの絵画コンクール」の入選作品5点を展示しました。

県議会のデジタル化の取り組み

今年度より、予算特別委員会での大型ディスプレイを使った質疑の本格運用を開始しましたが、議会活動におけるデジタルトランスフォーメーションを更に進めるため、12月定例会より、常任委員会においてタブレット及びペーパーレス会議システムの試行を開始しました。試行結果を検証し、本格運用に向けて検討を進めていきます。

写真キャプション1 常任委員会の様子

写真キャプション2 予算特別委員会の様子

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください！！

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局政策調査室 電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル カーボンニュートラルやまがた県民運動 家庭で取り組む脱炭素アクション

最終回・さまざまな脱炭素アクション

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、私たちが今からできる取り組みを全4回シリーズで紹介しており、今回は最終回です。

カーボンニュートラルの実現のためには、「徹底した省エネ」や「再エネの導入拡大」のほか、県民一人ひとりの意識転換や排出される二酸化炭素を吸収する森林への関わりも重要です。

消費行動の意識を変えよう！

日々の消費行動について、環境に配慮したものや環境を意識したものとなるよう、意識の転換を図っていきましょう。

例) エコ商品を選ぶ、リサイクル製品を選ぶ、食品ロスを減らす、地元産品を積極的に購入する

環境活動や環境学習に積極的に参加しよう！

カーボンニュートラルに向けた取組みを進めるうえでは、地域・社会の現状や気候変動の状況、何が問題となっているかを知ることが大切です。取組みを将来につなげていくためにも環境活動や環境学習に積極的に参加しましょう。

木や森と積極的に関わろう！

森林や木製品と関わる機会を積極的に増やしましょう。県産材を購入し利用することは林業の振興につながり、適切に整備された森林は二酸化炭素の吸収源として最大限に機能するようになります。

問い合わせ 環境企画課 電話番号 023-630-2335

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

ハルビンエリア ハルビンで花笠踊りを披露

本県は中国黒龍江省ハルビン市に事務所を設置し、中国との間で、経済・観光をはじめ、幅広い分野の交流を推進しています。

黒龍江省は最も北に位置する省であることから、中国有数の寒冷地であり、省都ハルビン市は、その寒さを象徴し「氷城」と呼ばれています。最も寒い1月には零下30度を下回ることもあり、まさに街全体が氷に覆われる氷の街となります。そのような厳しい冬で知られるハルビンで昨年12月16日に、ハルビンの日本愛好家の方々が集まる交流会において、山形の夏の風物詩である「花笠踊り」を披露し、本県の魅力をPRしました。会場からは「ヤッショ、マカショ！」の掛け声と歓声が上がリ、踊り手と観客が一体となって盛り上がりました。東の間ではありますが、冬のハルビンに山形の夏を再現できたようでした。

ハルビン事務所では今後も地元の方々との触れ合いを大切にし、日中の交流促進に努めていきます。

問い合わせ 県ハルビン事務所（中国黒龍江省）電話番号 プラス 86-451-5180-3406
県産品流通戦略課 電話番号 023-630-2355

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）イベント情報

第28回 山形県トップコンサート

令和5年度の音楽部門の全国・東北大会で優秀な成績をおさめ、選出された団体が県内トップレベルの演奏を披露するほか、合唱曲「アルカディアやまがた」を出演者全員による合同演奏でお届けします。

開催日時

3月20日（水曜日・祝日）午後1時30分

料金

入場無料

やまがた文化の回廊フェスティバル 2024

山形市内の文化施設と中心市街地をめぐって多彩な魅力を発見するフェスティバル！春風を感じながら“文化の回廊”に出かけてみませんか。

期間

3月16日（土曜日）から24日（日曜日）

会場

やまぎん県民ホール、山形市民会館、山形テルサ、文翔館、県立博物館、県立図書館、山形美術館、最上義光歴史館、やまがたクリエイティブシティセンター（キューイチ）、紅の蔵、JR山形駅 ほか

詳しくは検索窓に「やまがた文化の回廊フェスティバル」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

（受付時間：水曜日から月曜日の10時から19時）

山形交響楽団演奏会情報

庄内定期演奏会 第28回酒田公演

開演日時

3月17日（日曜日）午後3時

出演

指揮：阪哲朗

メゾ・ソプラノ：林美智子

テノール：宮里直樹

演目

J. シュトラウスⅡ世：スペイン行進曲作品433、ファリャ：バレエ音楽「恋は魔術師」（1925年版）、ビゼー：歌劇「カルメン」（ハイライト・ガラ）

会場

酒田市民会館 希望ホール（酒田市）

前売券

A席 4,800円 ほか

オーケストラの日 2024 やまぎん県民ホールシリーズ ボリューム4

開演日時

3月24日（日曜日）午後4時

出演

指揮：坂入健司郎 ピアノ：金子三勇士

演目

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番変ホ長調「皇帝」作品73、交響曲 第5番 ハ短調「運命」作品67

会場

やまぎん県民ホール（山形市）

前売券

一般 2,000円 ほか

同時開催

【オーケストラと遊ぼう！】（入場無料 午後1時30分から午後3時）
アンサンブル・ミニコンサート、なりきり指揮者体験、楽器体験、手づくり楽器工房、バックステージツアー ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-2903（山響担当）

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時

3月16日（土曜日）午後2時

対戦チーム

ヴァンフォーレ甲府

日時

3月20日（水曜日・祝日）午後2時

対戦チーム

藤枝 MYFC

日時

3月30日（土曜日）午後2時

対戦チーム

清水エスパルス

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

日時

3月9日（土曜日）午後4時

3月10日（日曜日）午後2時

対戦チーム

熊本ヴォルターズ

会場

山形県総合運動公園

日時

3月16日（土曜日）午後4時

3月17日（日曜日）午後2時

対戦チーム

愛媛オレンジバイキングス

会場

山形県総合運動公園

日時

3月27日（水曜日）午後7時

対戦チーム

岩手ビックブルズ

会場

山形市総合スポーツセンター

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

「アランマーレ山形」ホームゲーム**日時**

3月9日（土曜日）午後1時

対戦チーム

久光スプリングス

日時

3月10日（日曜日）午後1時

対戦チーム

JT マーヴェラス

会場

小真木原総合体育館（鶴岡市）

詳しくは検索窓に「アランマーレ山形」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-3156（プロスポーツ担当）

旬のやまがた美食レシピ

小笹うるいの和風煮

材料（2人分）

うるい 2本、油揚げ大 2枚、牛薄切り肉4枚、だししょうゆ 大さじ2、粉末だし 小さじ2分の1

作り方

- 1 うるいは3等分に切る。
- 2 油揚げは横長の向きに置いて半分に切り、袋の両端を切って広げる。
その上に牛薄切り肉を広げ、うるいをのせ手前から巻く
- 3 鍋に2を並べ、調味料と水2分の1カップを加えて弱火で10分ほど煮含めて完成！
おもてなしの一品に。

このほか、生のうるいの生ハム巻やサラダもおすすめてです。

レシピ提供：JA やまがた小笹うるい部会

多彩なレシピはこちらから

<https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/soshiki/11/ozsaurui.html>

伝統野菜 小笹うるい

収穫時期：2月中旬から5月中旬

明治20年代後半に上山市内山中から採取され、里で栽培されてきました。昭和55年ごろから市場へ「小笹うるい」として出荷されると、高い評価を得て、令和元年には農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に登録されました。ぬめりが強くシャキシャキとした食感と、茎の白さが特徴的です。

問い合わせ 村山総合支庁農業技術普及課 電話番号 023-621-8294

<14 から 15 ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和6年1月1日現在（プラスマイナス前月比）

人口総数 1,022,760人（前月比マイナス1,333人）

世帯数 401,276世帯（前月比プラス190世帯）

【試験】

山形県職員採用試験

職員採用試験（大学卒業程度・先行実施枠）の受験案内を3月1日（金曜日）から配布します。

<配布場所>

県庁（1階受付、15階人事委員会事務局）、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

ダウンロードはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/saiyosikentop/index.html>

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

【催し物】

オープンキャンパス情報

県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）

日時

3月10日（日曜日） 午前10時から正午

内容

学校概要説明、学科別ガイダンス、個別相談
（注釈）事前申込不要、出入自由

問い合わせ 電話番号 0234-31-2300

県立博物館 第6回やまはくセレクション展

新たに寄贈いただいた資料や整理を終えた収蔵品の中から、興味深いものを選定して公開します。常設展では見ることのできない貴重な資料をどうぞご覧ください。

展示内容

三島通庸の佩刀、ハイイロオオカミのはく製、寺子屋の教科書など

期間

3月2日（土曜日）から5月12日（日曜日）

時間

午前9時から午後4時30分（入館は午後4時まで）

入館料

一般300円、学生150円（高校生以下無料、障がい者と付添の方無料）

（注釈）5月5日（日曜日・こどもの日）は無料開館

休館日

毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）

（注釈）4月29日および5月6日は開館、4月30日および5月7日は休館

問い合わせ 県立博物館 電話番号 023-645-1111

野外活動を楽しもう！

少年自然の家ではさまざまなイベントを開催します。申込締切日、定員などはイベントごとに異なりますので、詳しくは各施設までお問い合わせください。

<朝日少年自然の家（大江町） 電話番号 0237-62-4125>

朝日わくわく広場1 段ボールでピザを焼こう

日程

5月18日（土曜日）

内容

段ボールオーブンを使ってのピザ作り

対象

子どものいる家族

プラネタリウム一般公開 春・夏の星空巡り

日程

6月1日（土曜日）・2日（日曜日）

内容

プラネタリウム鑑賞、天体望遠鏡での観望会

対象

どなたでも

<金峰少年自然の家(鶴岡市) 電話番号 0235-24-2400>

きんぼう春フェスタ

日程

4月28日（日曜日）

内容

たき火体験、野外活動、アクティビティ体験、クラフト体験など

対象

どなたでも

エンジョイ金峯山登山1

日程

5月11日（土曜日）

内容

春の山野草を楽しみながら登る金峯山登山

対象

小学生以上（小・中学生は保護者同伴）

<飯豊少年自然の家(飯豊町) 電話番号 0238-74-2331>

春のオープンデー

日程

5月12日（日曜日）

内容

体験屋台、クラフト屋台、フードコーナー、アスレチックなど

対象

どなたでも

いいでワイルド&アドベンチャー春キャンプ

日程

5月25日（土曜日）から26日（日曜日）

内容

ナイトハイキング、野外炊飯、テント泊など

対象

小学3年から中学生

<神室少年自然の家(真室川町) 電話番号 0233-62-2611>

神室オープンデー

日程

5月11日（土曜日）

内容

ミニキャンプ体験、ピザ作り、たき火体験など

対象

どなたでも

親子ふれあいキャンプ 春

日程

5月25日（土曜日）

内容

野外炊飯・野外活動・クラフトなど

対象

幼児・小学生と保護者

山形県公式 X（旧 Twitter）はこちら

https://twitter.com/pref_yamagata

@pref_yamagata

【お知らせ】

山形県パートナーシップ宣誓制度を開始しました

県では、すべての県民が、性別に関わりなく個人として尊重され、社会や地域において個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、「山形県パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。本制度は、双方またはいずれか一方が性的マイノリティのカップルが、互いの人生において、互いに協力して継続的に生活を共にすることを約束した関係であることを宣誓するものです。県は、お二人が宣誓したことを証明する「山形県パートナーシップ宣誓書受領証」を交付します。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/010003/kurashi/jinken/sankaku/partnership/y2023.html>

問い合わせ 多様性・女性若者活躍課 電話番号 023-630-3269

車検証の住所変更について

自動車をお持ちの方は、住所が変わった場合、車検証の住所変更の手続きが必要です。3月末までに手続きを完了すると、新しい住所に自動車税種別割納税通知書が送付されます。納税通知書が届かないと納税ができず、車検を受けられない場合がありますのでご注意ください。

問い合わせ先

<山形ナンバー>

山形運輸支局 電話番号 050-5540-2013

<庄内ナンバー>

庄内自動車検査登録事務所 電話番号 050-5540-2014

3月末までに手続きが終わらない方は、各総合支庁税務担当課へ自動車税種別割住所変更届出書を提出してください。

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-2068

運転免許証自主返納・運転経歴証明書申請の手続きについて

警察では、運転免許証の有効期間が残っている方が、健康上の理由などから自主的に運転免許証を返納する手続きを受け付けています。

原則本人による総合交通安全センターや警察署、交番・駐在所へ来所しての申請ですが、家族等による代理申請ができる場合もあります。一人暮らしなどで交通手段がない場合、訪問による自主返納ができる場合もあります。

また、自主返納を行った運転免許証または有効期限が切れた運転免許証の運転経歴証明書を申請することができます。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/police/>

問い合わせ 警察本部運転免許課 電話番号 023-655-2150

ひきこもりで悩んでいませんか？

「自立支援センター巣立ち」では、ひきこもり状態にあるご本人やご家族からの相談を無料で受け付けています。

場所

県精神保健福祉センター（山形市）

相談時間

<電話>

毎週月・火・木・金曜日 午前9時から正午、午後1時から5時

<来所>

毎週月・火・木・金曜日 午前9時から正午 注釈 要電話予約

電話番号

023-631-7141

また、ひきこもりに関する相談は、県内各保健所でも受け付けています
(平日午前8時30分から午後5時15分)。

村山保健所 電話番号 023-627-1184 (村山地域で山形市以外に居住の方)

山形市保健所 電話番号 023-616-7275

最上保健所 電話番号 0233-29-1266

置賜保健所 電話番号 0238-22-3015

庄内保健所 電話番号 0235-66-4931

詳しくは検索窓に「山形県 ひきこもり 相談」と入れてクリック。

問い合わせ 障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

3月は「自殺対策強化月間」です

心の健康に関する相談をお受けします。一人で悩まずにご相談ください。

こころの健康相談統一ダイヤル

電話番号 0570-064-556

受付時間

月から金曜日(祝日除く)午前9時から正午、午後1時から午後5時

(注釈) 3月1日(金曜日)から7日(木曜日)は土日を含め午前9時から午後5時まで対応します。

こころの健康相談@山形

LINEを利用した相談窓口を毎日午後6時30分から午後10時まで開設しています。

アカウントはこちら

<https://line.me/R/ti/p/%40950wtmqh#~>

問い合わせ 地域福祉推進課 電話番号 023-630-2268

異動の季節！本の返却お忘れなく！

3月は卒業や進学、就職、転勤などで大変忙しい時期です。県立図書館の本も一緒に県外などへ異動されることがないようにご注意ください。図書館の蔵書は県民共有の財産です。一人でも多くの方が利用できるよう貸出期間は順守していただくようお願いします。

県立図書館の情報はこちら

<https://www.lib.pref.yamagata.jp>

問い合わせ 県立図書館 電話番号 023-631-2523

令和6年能登半島地震への義援金

被災地を支援するため、県では専用口座で義援金を受け付けています。

口座名義

令和6年能登半島地震山形県義援金

口座番号

山形銀行 県庁支店 (普通) 3 1 3 8 5 2 6

受付期間

令和6年3月31日(日曜日)まで

振込手数料など詳細はこちらから

https://www.pref.yamagata.jp/090014/0601_donation.html

このほか、県庁ロビーなどに募金箱も設置しています。

問い合わせ 地域福祉推進課 電話番号 023-630-2269

令和6年度 山形県春の観光キャンペーン開催！

開催期間: 4月1日(月曜日)から6月30日(日曜日)

今春、山形県では、「心ほどける やまがた」をキャッチコピーに、県内各地の美食・美酒、温泉、自然などを楽しめる「心ほどける」キャンペーンを開催します。

この期間だけの体験やイベントの情報はキャンペーン特設サイトをご覧ください。

キャンペーン特設サイトはこちらから

<https://yamagataspring2024.com>

スイカのお買い物で当てよう！プレゼントキャンペーン

JRE POINT WEBサイトに登録したスイカで期間中に県内の対象店舗でお買い物した方に抽選で JRE POINT や山形県の特産品が当たります！チェリカの利用も可能です。

(注釈) 詳しくは3月下旬公開予定の JR 東日本のキャンペーンページをご覧ください。

朝パフェやまがた

県産フルーツを使ったパフェやご当地オリジナルのパフェなどさまざまな「朝パフェ」が県内のカフェや観光地にて午前中限定で楽しめます。

詳しくはこちら

https://yamagatakanko.com/festivals/detail_12810.html

問い合わせ 観光復活推進課 電話番号 023-630-2580

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

箕輪鮭漁業生産組合ふ化場

鮭を増やすための鮭ふ化場。

施設では、いったいどんな作業が行われているの？

おいしい鮭は、縄文人も食べていたんだって！

鮭の人工ふ化は、命をつなぐお手伝い。

川で生まれた鮭は、海を回遊した後、産卵のために生まれた川に戻る習性があります。明治時代に戻る鮭の数が減少したことから、鮭の保護と増殖を目的に、人が卵を育てる「人工ふ化」の取り組みがはじまりました。遊佐町には、毎年10月から12月までの間に、たくさんの鮭が川に戻ってきます。シーズン中、牛渡川に接した箕輪鮭漁業生産組合のふ化場では、「特別採捕許可」を得て組合員である地域の農家さんが、早朝から川の鮭を採捕し、卵を採取しています。令和5年の採捕量は約2万匹とのことですが、歴史をさかのぼれば、8万匹を越す鮭を採捕した記録も残っているそうです。採取した卵は冬の間、ふ化場で大切に育てられ、春には800万匹以上の稚魚が牛渡川に放流されるのです。遊佐町の小山崎遺跡では縄文人が食べた鮭の骨が見つかるなど、鮭は古くから人々の食生活に欠かせない魚です。鮭を守り増やすことは食を守ることでもあります。

写真キャプション1 大きな鮭がたくさん集まる光景は圧巻です!!

写真キャプション2 1匹から約3,000粒の卵が取れます

ヒミツポイント

<毎朝鮭と鬼ごっこ！？>

朝8時ころから牛渡川に入り大きな網を使い、「ウライ」と呼ばれる仕掛けまで、ゆっくりと鮭を追い込みます。

<鮭の生態を知るヒントに！>

鮭のうろこからは年齢が、耳石という組織からは人工ふ化した場所や放流した時期がわかるそうです。鮭の生態を知るため採取し、研究機関に送ります。

<清らかな水が行き渡るふ化場>

ずらりと並ぶのは、庄内式ふ化槽。水の入ったふ化槽の金網の上に卵が置かれ、ふ化する直前までここで飼育されます。

<川に戻った鮭としては日本一の大きさ！>

1977年に牛渡川で採捕されたオスの鮭。体長100センチで体重は14.3キログラム！遊佐町の鮭は、比較的大きな個体が多いのが特徴だそうです。

箕輪鮭漁業生産組合 代表理事組合長

佐藤 仁（さとう ひとし）さん

毎年たくさんの鮭が戻ってくるように人工ふ化に取り組んでいます。鮭の採捕作業を自由に見学できるほか、事前にご予約いただくと、鮭とばや寒風干しづくりも体験できます。近くに「丸池様」もありますので、ぜひ見学にきてください。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和6年3月号 638号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>